

議会だより

備えは万全ですか



9月定例会	令和2年度決算	P. 2
	令和3年度補正予算	P. 6
	町政を問う 一般質問	P. 8
	町内の状況を視察報告	P.16
	少年議会と町議会との意見交換会	P.18
	シリーズ遊佐人⑦(吹浦小学校)	P.19
	議会クイズ・編集室より	P.20

わくわく防災体験
吹浦防災センター
関連記事 P.20

シフトせよ

一般会計 歳出

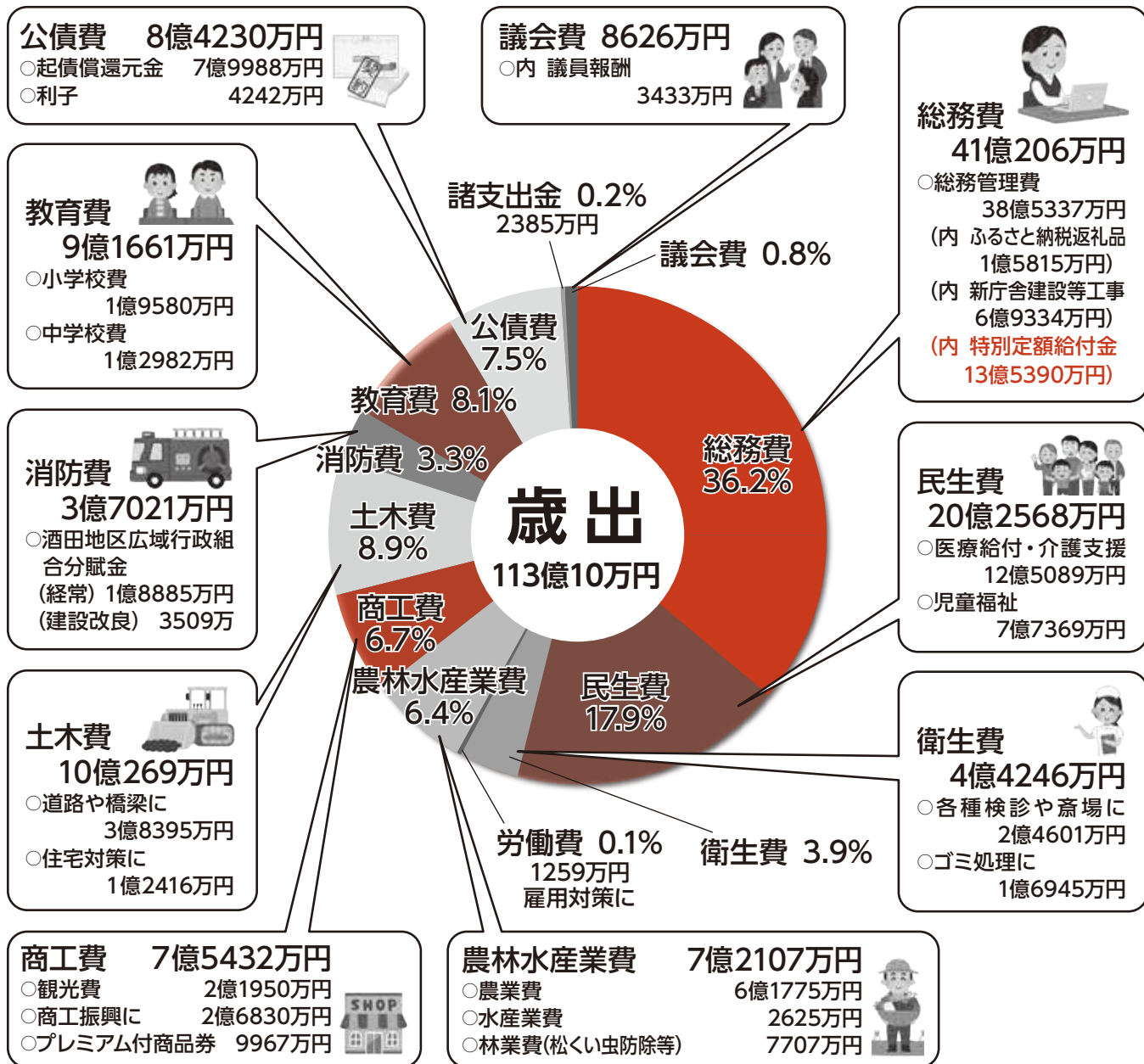
113億10万円

前年度比21億3169万円(23.3%)増

特別会計と町債残高

国民健康保険は県が広域運営している。各特別会計への繰り出し金は、一般会計から繰り出されるが、この中には国からの補助金も含まれる。

水道会計を含めた町債残高は、P3の下の表にまとめた。



特別会計決算

会計区分	国民健康保険	介護保険	後期高齢者	公共下水道	地域集落排水
歳出額	14億6775万円	19億830万円	1億8667万円	6億1480万円	9443万円
前年度比	9034万円減	1983万円減	1110万円増	1億9449万円減	139万円減

水道事業会計

●収益的収入	4億1500万円
●収益的支出	3億7715万円
●純益	3785万円

決算審査

補正予算審査

一般質問

定例会臨時議案内容

委員会レポート

少年議会と意見交換

遊佐人

2年度
決算認定

アフターコロナに

決算審査

補正予算審査

一般質問

定例会臨時会議内容

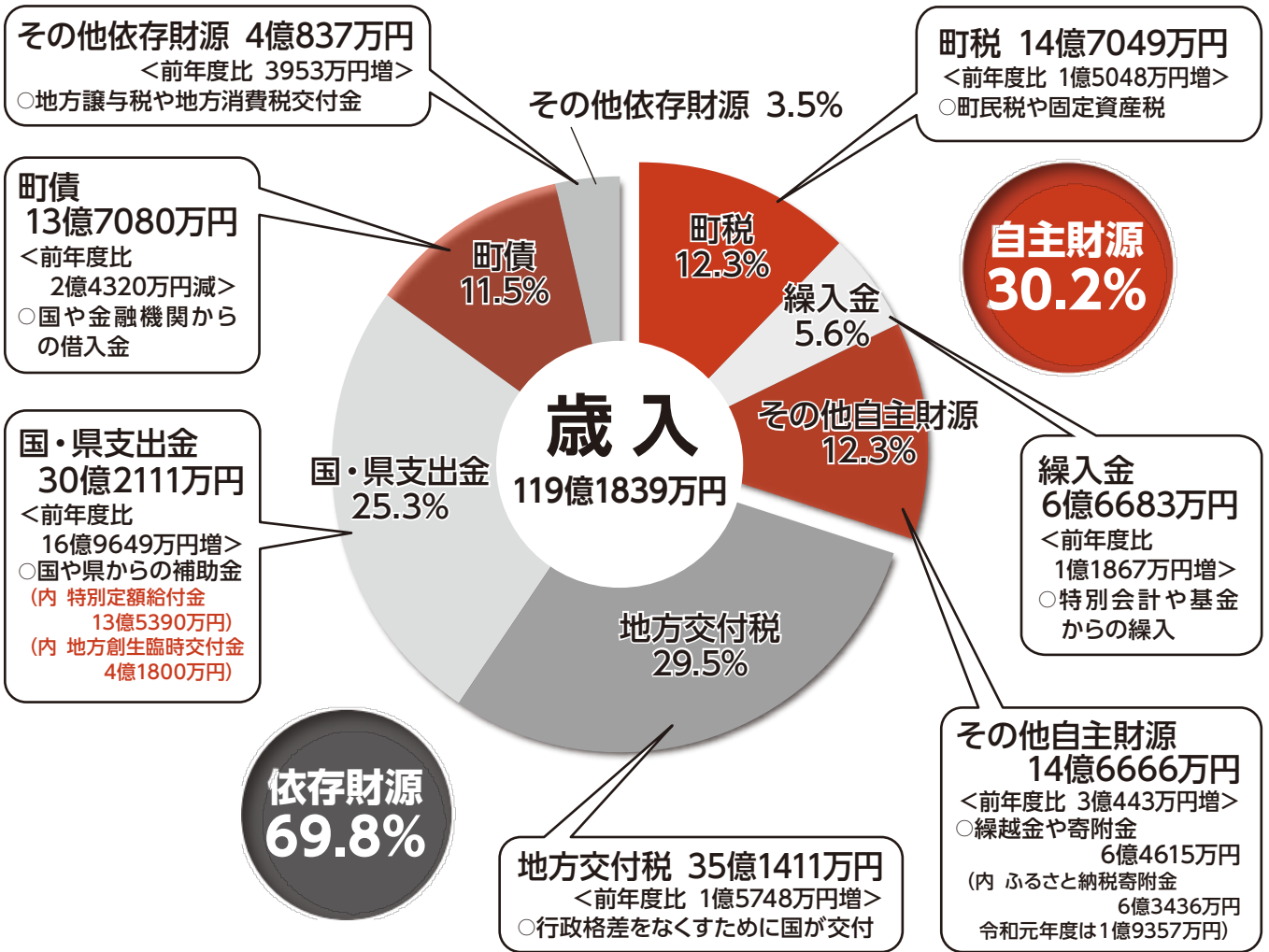
委員会レポート

少年議会と意見交換

遊佐人

一般会計

- 歳入総額119億1839万円、歳出総額113億10万円で、翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支は、5億1875万円の黒字額となっている。財政の弾力性を示す経常収支比率(※)は、望ましいとされる70%台を上回り87.2%であり、さらなる経常経費の削減が望まれる。
- 2年度の特徴として、新型コロナウイルス感染症対策として、国より特別定額給付事業補助金として13億5390万円、地方創生臨時交付金4億1800万円が給付され、例年のない大型決算となった。



町債の年度末残高

会計名	一般会計から特別会計へ繰出し金(期首)	特別会計からの繰戻し(期末)
国民健康保険	1億812万円	1973万円
介護保険	3億1273万円	1371万円
後期高齢者医療保険	6614万円	140万円
公共下水道	4億3000万円	0万円
地域集落排水事業	6800万円	0万円

会計区分	2年度	元年度
一般会計	94億9939万円	89億2847万円
特別会計	47億283万円	51億4157万円
合計(A)	142億222万円	140億7004万円
その他(B)(水道)	10億164万円	11億2324万円
総合計(A+B)	152億386万円	151億9328万円

※経常収支比率: 地方税、地方交付税などの経常的収入に対し人件費や公債費(借金の返済)など、必ず支出しなければならない経常的経費の割合。70%から80%の間が望ましいとされる。

2年度 決算 質疑

決算審査特別委員会 9月16日・17日

プレミアム付商品券の発行、「新・生活様式」リフォーム支援や観光業及び飲食業への支援が特徴です。

決算審査…予算執行が適正であるかをチェックするとともに、次年度の予算編成に改善と提案を求める場です。



委員長 齋藤 武
副委員長 本間 知広

地域生活課

知って、活用 リフォーム支援

問 コロナ対応の、「新・生活様式」リフォーム支援の実績は。

答 (那須 正幸 委員)

問 2年度は、モニター付きインターホン取付工事など、13件の申請があった。3年度も実施している。

水道補助事業大幅な減

問 水道工事が大幅に減った。内訳と今後の工事予定は。

答 (那須 正幸 委員)

問 2年度は、補助事業を実施していないため、補助金による収入が皆減となった。現在、耐震化計画を策定中であり、計画的に整備していく。

安定した水道水供給を

問 水道事業特別会計への繰り出しによる、料金、品質共に安定した水道供給を。

答 (阿部 満吉 委員)

問 水安全計画を策定し、施設の適切な維持管理に努めるとともに、耐震化対策を進める。

決算審査

補正予算審査

一般質問

定例会臨時議案内容

委員会レポート

少年議会と意見交換

遊佐人

河川環境整備は 災害防止にも

問 月光川水系環境整備補助金が、元年度比で倍額であるが、その背景は。

答 (菅原 和幸 委員)

問 月光川水害予防組合では、毎年、7月の全町美化運動に合わせ、月光川水系の草刈りを行っている。その賃金を実情に合わせて改定したもの。

小型家電の資源化

問 希少金属を含む小型家電の日常的な回収をもっと簡易な方法で。

答 (阿部 満吉 委員)

問 小型家電の回収は、役場庁舎内に通年、回収ボックスを設置している。

産業課

商品券は全世帯に 行き渡ったのか

問 プレミアム付商品券は夏と冬、何世帯の購入利用があったのか。

答 (那須 正幸 委員)

問 夏の一次販売では2458世帯、冬の一次販売では3012世帯の購入利用があった。

農業研修生のための 空き家活用

問 「空き家利活用住宅事業」の現状は。

答 (菅原 和幸 委員)

問 農業研修生の住居として町が借り上げ、所有者への賃借料を町が負担している。

圃場整備事業負担金

問 土地改良事業は以前と違って個々の農家が負担金を払わないで済むのか。

答 (齋藤弥志夫 委員)

問 工事は条件付きではあるが、個々の農家の負担を軽減している。

酒田地区農作物輸出推進

問 輸出で農業を開拓するのはまだである。

答 (齋藤弥志夫 委員)

問 酒田地区農産物輸出推進協議会の構成組織として、海外における取引の可能性を探り、輸出拡大と生産者の所得向上をめざしていく。



圃場整備事業(杉沢地区)

教育課

カバンは 軽量化になるのか

問 小中学校、一人一台のパソコンが整備されたが、教科書の電子化は。

答 (那須 正幸 委員)

問 GIGAスクール構想により、将来の義務教育におけるデジタル教科書導入に向け、基盤整備が進められている。

図書の購入は適切か

問 図書の購入は、パソコンの導入より子どもたちを育む力は大きいと考える。

答 (阿部 満吉 委員)

問 学校毎に図書購入費及び購入冊数は維持・継続している。町立図書館との連携も図り読書活動の推進に注力する。



小型家電の回収箱
(庁舎西側入口)



町立図書館LED化

町指定文化財の保存は

問 106件の町指定文化財がある。保護のための基金等の設置は。

(高橋 冠治 委員)

答 文化財補助金交付要綱に基づき、所有者の申請により指定文化財の管理又は修理に係る助成を行っている。

タブレット端末の活用は

問 タブレットを十分使いこなす環境は出来上がっているのか。

(斎藤弥志夫 委員)

答 ※ICT支援員が小中学校を巡回し授業等を円滑に行うための支援を行っている。

※ICT支援員：先生・児童生徒の授業におけるパソコンなど操作補助を行う支援員。

町立図書館LED照明化の効果は

問 LED照明は電力料金の抑制と管理費の削減にもなるのでは。

(菅原 和幸 委員)

答 2年度に図書館内照明のLED化工事を完了した。経費削減効果も期待される。

少年町長・少年議員の予算

問 45万円の予算で不足ならば、増額の検討が必要ではないか。

(斎藤弥志夫 委員)

答 一定の活動時間や政策実現予算の中で、少年議員同士が知恵を出し合い、効果的な成果を上げている現状の維持を図る。

町民課

休日窓口予約が減っている

問 休日窓口の予約数が減少傾向である。今後の取り組みは。

(本間 知広 委員)

答 9月1日ゆざ広報で休日窓口の利用手順を周知。直近の休日窓口には計6件の予約があった。今後も定期的に周知を行う。

マイナンバー制度

問 通知カードは再交付できるのか。

(赤塚 英一 委員)

答 通知カードは2年度中に廃止となったため、現在は、マイナンバーカードの取得をすすめている。



マイナちゃん

総務課

不用額減額への取り組みを

問 5億近い不用額の減額に取り組みむべきと考えるが。

(本間 知広 委員)

答 法令上、明確な基準は示されていないものの、3年度は事業費を精査するなどの対応をとりたい。

基金の適正使用を

問 目的を達成した基金があると思うが、適正な使用を求める。

(赤塚 英一 委員)

答 条例により目的が明確に定められている。庁舎等建設基金は、その改廃も含め検討していきたい。



非常食がおいしい

非常食セットの賞味期限

問 防災倉庫に分散保管されている非常食の管理は。

(佐藤俊太郎 委員)

答 賞味期限が迫ったものは訓練等で実食している。不足した分は補充している。

サポカー補助金申請

問 補助申請数と申請時誓約書の内容は。

(佐藤俊太郎 委員)

答 2年度申請者数は122名である。誓約書には3年度から交通ルールの遵守と安全運転の励行に関する事項を加えた。

企画課

観光宿泊業への更なる支援を

問 コロナ禍の状況であり、更なる支援が必要ではないか。

(赤塚 英一 委員)

答 今後、国県の動向を注視し、他産業への波及効果も期待できる効果的な支援を検討する。

健康福祉課

国民健康保険特別会計

問 歳出における前年度比で減の区分が多い理由は。

(佐藤 光保 委員)

答 新型コロナ感染症拡大による医療機関での受診控えにより、医療給付費が減少となった。

感染予防の状況

問 インフルエンザワクチンの接種状況は。

(赤塚 英一 委員)

答 接種率は、高齢者72.4%、子どもは66.1%。2年度中は小中学校や保育園の休校等はなかった。

決算審査

補正予算審査

一般質問

定例会臨時会議内容

委員会レポート

少年議会と意見交換

遊佐人

3年度 補正予算質疑

補正予算審査特別委員会 9月10日



委員長 那須 正幸

副委員長 菅原 和幸

補正のポイント 7億9400万円を増額

- PayPay還元金不足額 3000万円 P6に関連記事
- コロナワクチン接種体制確保事業 313万円 P6に関連記事
- 統合小学校バス回転場及び駐車場整備 700万円 P7に関連記事
- 観光誘客対策事業 500万円 P7に関連記事

決算審査

補正予算審査

一般質問

定例会臨時議案内容

委員会レポート

少年議会と意見交換

遊佐人

産業課

コロナ感染対策は

問 道の駅等は来訪者も多く、職員は日々大勢の県外客と接する。対策は。

(高橋 冠治 委員)

答 不織布マスク、ゴム手袋などを着用し、うつらない、うつさない対策を強化している。

町内にATM設置は

問 PayPay 20%還元キャンペーンでは町内に入金施設はなかったが。

(高橋 冠治 委員)

答 キャッシュレス化促進のため、「ふらっと」の店内にATMの設置を計画している。



セブン銀行ATM (ふらっとに設置)

水産業成長産業化支援事業は

問 漁業の活性化を図ることは、将来にもつながる。対象事業と交付先は。

(菅原 和幸 委員)

答 ① 鮭孵化場施設補修等で箕輪・高瀬川鮭漁業生産組合、② 漁船設備等更新で個人漁業者、③ サケシンポジウム等の開催経費でめじか地域振興協議会に交付予定である。

子どもセンター

※雨水装置の故障

問 枯れ葉等の詰まりが原因とのこと。定期点検で対応できないのか。

(佐藤俊太郎 委員)

答 これまで、点検をしてこなかった。今後は、定期的に実施し、修理が必要な場合は、その都度対応していきたい。
※雨水をトイレの洗浄水として利用するための装置。

保育料の無償化

問 保育料無償化に向けた段階的負担軽減交付金に係る歳出の内訳は。

(佐藤 光保 委員)

健康福祉課



鮭の採卵

答 歳出では、児童福祉費補助金のうち、321万8千円が増となった。歳入では、保育料が減となっている。

ワクチン接種手応えは

問 ワクチン接種は実地の災害対応でもある。町の手応えは。

(齋藤 武 委員)

答 遊佐医会との連携が強くなった。また、職員が状況に応じて工夫し、対応することができた。

総務課

なぜ町債にかわった

問 新小学校の整備に、なぜ基金の活用をやめ町債にかえたのか。

(本間 知広 委員)

答 2年度に入り、^{*}過疎債が活用できることになったため、財政運営上有利な方を選択したものである。

^{*}過疎債を利用すると、7割の交付税措置が受けられる。

当初予算600万円の事業になぜ

問 財務会計のシステム更新委託に1400万円の追加だが、その要因は。

(本間 知広 委員)

答 当初予算ではハード整備のみで対応可としていたが、後にバージョンアップも必要ことが判明したことによる。

段ボールベッドの組み立ては

問 作成に必要な人員及び時間等の把握はなされているのか。

(佐藤俊太郎 委員)

答 熟練度により組み立て時間かなりの差が生じる。実体験できる機会を増やしていきたい。



段ボールベッド

例規改正支援事業

問 委託料の内容及び債務負担行為補正を要する理由は。

(佐藤 光保 委員)

答 地方公務員法の改正に伴う定年延長により、2カ年に渡るため補正と同時に債務負担行為を設定するものである。

^{*}債務負担行為：次年度以降の将来の支出を予め約束する行為。

便利になるのか解体補助金

問 空き家を解体撤去するための補助要綱は、なぜ改正されたのか。

(齋藤 武 委員)

答 年々増加している危険空き家の解体を促進するため、これまで非課税者で、老朽危険度が高い空き家のみ対象にしていた要件を緩和した。

気密性の高い防護テントを

問 災害時の感染症対策として、気密性の高い防護テントの必要性は。

(赤塚 英一 委員)

答 防護テントは主に負傷者の応急処置を想定したものであり、感染症対策としては部屋を分けることにしている。

地域生活課

町道維持工事費の内容は

問 町道修繕は何力所予定しているのか。800万円では不足ではないか。

(松永 裕美 委員)

答 この予算は、主に各集落からの要望や緊急箇所の維持補修工事を行うもの。今後30カ所程度を予定している。

除雪機の更新は計画的に

問 除雪機をリースするようだが、その理由と今後の更新計画は。

(菅原 和幸 委員)

答 シーズン前の点検により、修繕に多額の経費がかかることからリースする。4年度、当除雪機械の更新を予定している。

教育課

アンケート なぜ実施

問 文化財保護のために、アンケート費用が計上されているが。

(菅原 和幸 委員)

答 史跡小山崎遺跡の現状の認知度を把握し保存・活用に関する町民意見をとらえた計画策定のためのアンケートを実施する。

統合小学校の整備

問 700万円の小学校施設整備の内容は。

(齋藤弥志夫 委員)

答 遊佐小学校に増設するバス転回場及び駐車場予定地の農業用パイプラインの移設を行う。

企画課

三崎公園東屋修理

問 経年劣化によると思うが、屋根の修理だけでなく大丈夫なのか。

(佐藤俊太郎 委員)

答 県が整備し町が維持管理している。町に移管予定であり、破損の状況によっては、解体も含め再度検討し対応する。

何の返還金なのか

問 定住住宅空き家活用事業補助金返還金とは、どういうものか。

(本間 知広 委員)

答 町が、借り上げた住宅をリフォームし活用。一定期間内に契約解除し



三崎公園 東屋

た場合、改修費用の一部を返還してもらうもの。

観光産業への支援策は

問 観光キャンペーンの内容は。

(佐藤 光保 委員)

答 「泊まってもらおう 宿泊キャンペーン」。町内宿泊施設に宿泊した方に2500円相当の町内特産品を贈呈するもの。

宣伝広告の重要性

問 タウン誌への広告宣伝はどのようなエリアを想定しているのか。

(赤塚 英一 委員)

答 コロナの状況にもよるが、秋冬の観光キャンペーン広告を、仙台圏のタウン誌に掲載予定。

一般質問

町の事業と課題を問う

11議員登壇

9月7日・8日

一般質問通告の要旨 (通告順)

※誌面の都合上、掲載できなかった質問は議会ホームページの議会録画をご覧ください。

菅原 和幸議員 …… P 8

●国道・県道管理者との調整の現状は

松永 裕美議員 …… P 9

●町オリジナルの地域紙幣を

那須 正幸議員 …… P 9

●今日は、遊佐に行こう

赤塚 英一議員 …… P 10

●水産振興の今後は

阿部 満吉議員 …… P 10

●専門知識を持った職員を

斎藤弥志夫議員 …… P 11

●50%のプレミアム付商品券の発行を

齋藤 武議員 …… P 11

●役場職員試験 住所要件なぜ復活

佐藤 光保議員 …… P 12

●洋上風力発電事業計画

町民の理解と合意は

本間 知広議員 …… P 12

●電子化による経済の活性化を

佐藤俊太郎議員 …… P 13

●地球温暖化現象下における

行動指針

高橋 冠治議員 …… P 13

●15歳から12歳のワクチン接種は

一般質問とは

町の行政全般にわたって、問題や課題を明らかにし、政策の改善や新規の政策の採用を求めるために行います。

国道・県道管理者との調整の現状は



菅原 和幸 議員

町長

県道路中期計画へ継続して要望

調整の現状は

質問者の動画が見られます。



●鳥海南工業団地でバイオマス発電所建設工事が着工した。酒田港から燃料運搬車を通る交差点(白木)改良の要望がある。同区間は「重要物流道路」である。日沿道開通後、県道になることも想定される。2年以内に実現するよう要望すべきでは。

●現在の「県道路中期計画」は、2028年度までとなっている。中間年の計画の見直しに盛り込むよう引き続き要望をしていく。

●町民からデジタル化の意見を聴く場の設置の考えはないか。

●まずは町の方針を定め、庁内での議論を経て町民へという手順を進めたい。

●これまで県と共に国に要望をしてきた。今後も継続して要望していきたい。

●県道371号(升川・未着工区間)も2年後の「県道路中期計画」の中の見直しに向け積極的に要望を。



ペレット燃料運搬車輻が通行する交差点(白木地内)

町オリジナルの地域紙幣を



まつなが ゆみ
松永 裕美
議員



必要に応じ検討したい

質問者の動画が見られます。



問 美化活動や見守り等のボランティアが増えると、町はより住みやすくなる。そのお礼を地域紙幣で給付する制度は、遊佐町らしい施策では。

答 まちづくりは、日ごろから多くの町民のボランティア活動によって支えられている。ボランティア活動の維持・継続のために、感謝の気持ちを表すことは大切なことである。

問 地域紙幣の名称は昔ながらの「駄賃」にちなみ、「DAZZIN(だっぢん)」としてはどうか。

答 遊佐町に合った、ユニークな名称と受け止めている。

これも質問
問 役場のワンストップ窓口として「お悔やみ総合受付」を設けては。

答 単独の窓口は困難。一部予約制を取り入れ、利用しやすい窓口業務を行う。



図柄で町の歴史・文化も遺せる【遊佐だっぢん紙幣】

今日は、遊佐に行こう



なす まさゆき
那須 正幸
議員



周辺施設との連携を
念頭に計画

質問者の動画が見られます。



問 「遊ぼっと」は遊佐鳥海ICから2分の所において、利便性が良い。県内外から若者が集い、家族で遊ぶ、観光の目的になるよう、今から再整備を。

答 町では、都市公園・河川公園再整備基本計画に基づき2年度、遊具整備が完了した。「遊ぼっと」は、手なが足ながの大型造形遊具とターザンロープを設置した。今後の整備は、町民の需要や要望を調査し、町民が求めているものを整備していく。

問 「遊ぼっと」をはじめ町の公園はHPに掲載されていない。サイトに追加し利用を促してはどうか。

答 計画された全ての公園の再整備が完了したことから、10月1日号の広報で公園を紹介する。それを参考にHPに公園の案内・紹介ページの作成に取り組む。

問 オリンピアン育成のためのアスレチックなど、今後の整備計画に取り入れてはどうか。

答 公園の新たな施設整備は、周辺施設との連携を念頭に置き計画していく。



もっと アピールして

これも質問
問 マイナンバーカード申請、県内最下位だが。

答 出前講座での出張申請サポートや、申請者への商品券の発行を検討する。

決算審査

補正予算審査

一般質問

定例会臨時会議内容

委員会レポート

少年議会と意見交換

遊佐人

水産振興の今後は



あかつか えいち
赤塚 英一
議員



海の資源管理に
継続して取り組みたい

質問者の動画が見られます。



問 海の恵みは観光資源としても産業としてもその重要性は増していると思う。

答 今後の水産振興はどのように考えているのか。

問 本町は養殖事業に適した水環境にある。サクラマス、アワビの陸上養殖やヒラメ、トラフグ、アワビの放流事業などの継続により資源確保に努め、水産振興につなげていきたい。

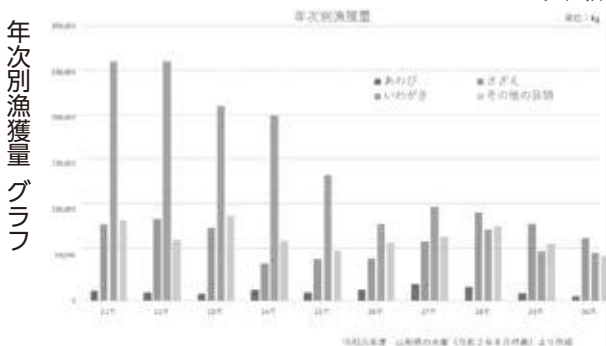
答 岩ガキの種苗を試験的に飼育している。

問 岩ガキは、夏の味覚であるが、漁獲量は年々激減している。陸上養殖も検討しては。

答 元年度から漁村センターのアワビ養殖沈殿槽で、徳島県から購入した

これも質問
庁舎内での紙資源の活用は。

答 裏面が使用可能な紙は、裏紙として有効活用、両面使用済の紙は、リサイクル業者が回収。



専門知識を持った職員を



あべ みつよし
阿部 満吉
議員



採用の実現に期待

質問者の動画が見られます。



問 新庁舎等、建物の生涯コストは建設費の3倍を超えるといわれる。建物の維持管理の点からも建築士の資格を持った職員の採用を望む。

答 4年4月の採用に向けた職員募集の際、一般職とともに技術職員の枠を設けたところ、一定の応募があったことから是非採用に結びついて欲しいと期待している。

問 今の役場職員は、地域おこし協力隊員に比べ、町民と触れ合う機会が少ないのではないか。

答 町の役場職員は、地域おこし協力隊員に比べ、町民と触れ合う機会が少ないのではないかと。町政座談会をはじめ各種説明会・イベント等の開催、地域担当職員制度を活用し、町民との交流を図っていきたい。

問 遊佐になじみ3年間の任期を終えた地域おこし協力隊員を、遊佐から手放すのはもったいない。

答 任期終了後、起業に対する補助事業を実施。隊員のスキルや移住者の視点を活かし、まちづくりに参加している。



窓口を越えてふれあいを

50%のプレミアム付 商品券発行を



さいとう やしお 齋藤 弥志 議員



新しい形の商品券発行を
検討する

質問者の動画が見られます。



問 前回好評のプレミアム付商品券、3年度はさらに50%のプレミアム付商品券でさらなる消費拡大を。

答 2年度は40%のプレミアム付商品券を販売した。50%設定の商品券となれば、より一層地域経済への波及効果は高いと想定される。財源確保と購入者の公平性の担保確保が課題となる。

問 新庄市5千円分、村山市3千円分、中山町1万円分の商品券を無料で配布。遊佐町の対応は。

答 販売が適しているのか、無料配布方式が良いのかなど、金額を含め検討したい。

問 新庁舎完成記念で50%のプレミアム付商品券を発行するの、一つの方法ではないか。

答 商品券か電子決済か、財源を確保し新しい形の発行を検討したい。

これも質問 災害発生時の避難でペットの扱いはどうなるのか。

答 町の防災計画では、原則として屋内は不可だが、各避難所運営の中で協議することとしている。



イラストはイメージです

家計のサポートを

決算審査

補正予算審査

一般質問

定例会臨時会議内容

委員会レポート

少年議会と意見交換

遊佐人

役場職員採用試験 住所要件なぜ復活



さいとう たけし 齋藤 議員



危機管理対応などに有益

質問者の動画が見られます。



問 職員採用試験出願に際し、一部を除き「町に住所を有すること」という要件がある。この要件は一度撤廃された。なぜ復活したのか。

答 昨年初めて住所要件を外して試験を行った結果、合格者の辞退が相次ぎ目標としていた採用ができなかったため、今年はそのような事態を避けたいということである。

問 法律上「職務の遂行上必要な場合のみ住所要件が可能だが、町では職務遂行上必要なのか。

答 危機管理対応や住民ニーズの把握、地域に根差した行政運営のためには有益と考える。

問 住所要件の復活は重要要件であるが、これまでに議会に説明されていない。なぜか。

答 議会へ直接説明する機会はなかったが、職員募集と並行して町広報で

役場の仕事の魅力を伝える特集を企画し、周知を図ってきた。

これも質問 PayPayキャンペーンは、実数で何人の町民が利用したのか。

答 PayPayアプリシステムとの契約上、実人数は不明である。

遊佐町職員採用資格試験(令和4年4月採用)

職種	採用予定人員	受験資格など
上級	行政 若干名	①平成4年4月2日以前から平成12年4月1日までに生まれた方【専門職(2年以上)職(4年以上)】 ②大学(短期大学を除く)を卒業した方。又は、令和4年3月31日までに卒業見込みの方 ③令和2年7月1日現在で遊佐町に住所を有する方。又は、就学時のため遊佐町外に居住している場合は父兄が町内に住所を有する方。
中級	行政(職外) 若干名	①平成4年4月2日以前から平成12年4月1日までに生まれた方【専門職(1年以上)職(2年以上)】 ②高校卒業程度の学力を有する方(大卒者及び大学卒業見込みの方を除く) ③令和2年7月1日現在で遊佐町に住所を有する方。又は、就学時のため遊佐町外に居住している場合は父兄が町内に住所を有する方。
	技術 若干名	①令和4年4月2日以前に生まれた方【専任職員】で資格学校以上の学歴を有する方 ②専任専任、次のいずれかの手段を有している方 ・身体障害者福祉法第25条に定める身体障害者手帳 ・精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第69条に定める精神障害者保健福祉手帳 ・従前の就業歴しくは法令に定められたことが交付する療育手帳 ③令和4年4月2日以前から平成12年4月1日までに生まれた方【専任職員(以上の職を除く)】 ④高校卒業程度の学力を有する方
下級	技術 若干名	①令和4年4月2日以前に生まれた方【専任職員(以上の職を除く)】 ②令和4年4月2日以前に生まれた方【専任職員(以上の職を除く)】 ③令和4年4月2日以前に生まれた方【専任職員(以上の職を除く)】

ひらかれた職員採用を
(7月1日号 町広報)

洋上風力発電事業計画 町民の理解と合意は



さとう みつやす
佐藤 議員

町長 町民の思いを
町の意見として県へ

質問者の動画が見られます。



決算審査

補正予算審査

一般質問

定例会臨時会議内容

委員会レポート

少年議会と意見交換

遊佐人

問 県や事業者による説明会の告知を広報等でするだけではなく、事業に対する町の姿勢を明らかにする必要があるのでは。

ととなる。

問 飛島航路からの眺望を含め規模と景観をモニターで示されたい。

これも質問

問 生理用品を小・中学校のトイレに設置された。

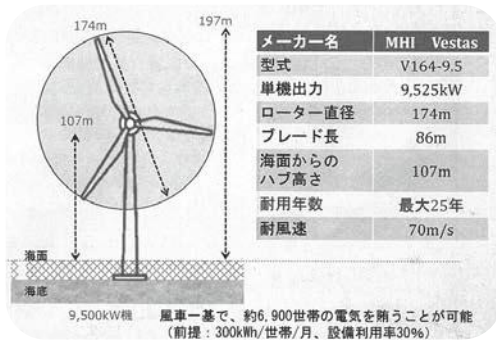
答 当面は保健室に常備して現状を維持しながら、相談支援の充実に努める。

答 山形県が遊佐沖に導入を進めている洋上風力発電事業は、これまで、地域部会や住民説明会を開催してきた。町は環境審議会に諮り、町の意見として県に回答している。

問 町民説明会でも要望があり、町からも、県へフオートモニターの作成を要請している。

問 地域が潤う再生可能エネルギー、町のメリットは。

答 今後、「有望な区域」に選定されれば、国による法定協議会の場で、地域の先行利用者である漁業者への貢献策等、具体的な協議を行っていくこ



洋上風車 イメージ
(県説明会資料による)

電子化による経済の活性化を



ほんま ともひろ
本間 議員

町長 町内経済の
デジタル化を進める

質問者の動画が見られます。



問 これまでもプレミアム付商品券などで経済対策を行ってきたが、今後それらを電子化し、地域経済の活性化を進めていくべきと考えるが。

答 電子化の需要は益々高まり、コロナ禍収束後も電子決済の増加が期待される。デジタル化の促進は地域経済にとって重要である。

問 電子化が普及することにより、期待される効果は。

答 商品券発行に比べ、印刷費と販売・換金に係る人件費の削減をはじめ、売り上げの管理やコロナ感染対策などが期待される。



将来デジタル化を

地球温暖化現象下における行動指針



さとうしんたろう 佐藤 俊太郎 議員



※LAS-Eによる意識の向上と子どもたちへの環境教育を実施

質問者の動画が見られます。



15歳から12歳のワクチン接種は



たかはし かんじ 高橋 冠 議員



安心なワクチン接種を行う

質問者の動画が見られます。



問 人間の営みが地球を温暖化させてきた。温暖化は今後さらに進行すると予測される中、現在執行中の「LAS-E」の現状と予測は。

答 地域生活課では、子どもたちの自主的な環境配慮行動の定着と、各校による積極的な環境教育の導入を期待し、「小中学校エコ・チャレンジ事業」を実施している。

※LAS-E：環境自治体会議環境政策研究所が開発した環境マネジメントシステム。町の環境に関する取組みを住民から選ばれた監査員がチェックを行っている。

これも質問

問 高齢者等の緊急時通報システム事業の現状は。

答 緊急時通報システムを活用しながらも、地域による見守りが重要。

問 LAS-Eとは、環境に配慮した自治体であるか評価するもので、4段階で構成されており、徐々にレベルアップしていける仕組みとなっている。遊佐町は、現在、第2ステージの習熟を目標として設定している

答 県内でも対応事例は限定的であるため、各分野の取組動向を注視していきたい。

※成素クレジット：温室効果ガスの排出削減量や吸収量を取引対象として国が認証する制度

問 成人はもとより子どもも協同のうえ、町民主導の温暖化対策を実行すべきでは。



LAS-E監査(元年度)



決算審査

補正予算審査

一般質問

定例会臨時会議内容

委員会レポート

少年議会と意見交換

遊佐人

全会一致で意見書を提出

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の拡充を求める意見書(要旨)

- ・令和4年度以降の地方一般財源は、十分な総額を確保すること。
- ・固定資産税は市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹を揺るがす見直しは断じて行わないこと。
- ・3年度税制改正により行われた自動車税の臨時減税の延長に関し、更なる延長は行わないこと。
- ・炭素に係る税を創設等する場合は、その一部を地方に税源配分すること。

【提出先】：財務大臣、総務大臣ほか

安全・安心で、ゆきとどいた教育実現のため早急に30人学級を求める意見書(要旨)

未来を担う子どもたちが夢や希望を持ち、健やかに成長していくことは、全ての国民の切なる願いです。ところが、2年春からは新型コロナウイルス感染症という、今までほとんど経験したことのないような事態が学校教育現場をも襲っています。

新型コロナウイルス感染症流行前から存在していた、学校教育上の諸課題における「個」に応じた対応と、併せて今後も起こりうる新たな感染症対策を万全にしていくために、教職員の拡充をはかり、子ども一人一人に十分対応しうる体制が求められています。

こうした状況を踏まえ、義務教育の全学年で30人以下の少人数学級編制を実現するよう、強く求めます。

【提出先】：財務大臣、文部科学大臣ほか

米の需給調整に関する意見書(要旨)

コロナ禍による予期せぬ需要減等により主食用米の民間在庫は業務用米を中心に増加し、令和3年6月末で219万トンと適正水準とされる180万トンを大幅に超過している。

2年産米がこの秋以降に持ち越されれば、3年産米の需給緩和と米価下落、4年産作付け転換にも上乗せされ、稲作を根幹とする本県農業への甚大な影響が懸念される。

政府備蓄米の運用改善等あらゆる政策を総動員した市場隔離の実施、倉庫の新設や改修にかかる支援等、収穫後の出口対策を強化・拡充することを強く要望する。

【提出先】：財務大臣、農林水産大臣ほか

みなさんの思いを町政に

町民と議会の懇談会を開催します

テーマ

- ①小学校統合と空き校舎利用
- ②洋上風力発電事業
- ③農地の維持と後継者
- ④暮らし・情報のデジタル化
- ⑤その他

お近くの会場にお越しください!



11月21日(日) 午後1:30～ (概ね2時間程度)

3カ所で開催

	会場	議員メンバー
A会場	藤岡まちづくりセンター	高橋 冠治 菅原 和幸 佐藤 光保 本間 知宏
B会場	西遊佐まちづくりセンター	斎藤 武 齋藤 弥志夫 赤塚 英一 齋藤 武 那須 正幸
C会場	吹浦防災センター	土門 治明 阿部 満吉 松永 裕美 佐藤俊太郎

お問い合わせ | 議会事務局 ☎ 72-5889

9月定例会の議案内容（一般会計補正予算、他17件〈発議3件含む〉）

議案番号	議案名	内容
議66～70号	令和3年度一般会計補正予算（第4号）、国民健康保険特別会計補正予算（第1号）、介護保険特別会計補正予算（第2号）、後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）、水道事業会計補正予算（第1号）	PayPay20%還元事業、除雪経費にそれぞれ3000万円など、7億9800万円を追加し、一般会計総額100億5300万円にP6～7に審議内容を掲載
議71号	令和2年度各会計歳入歳出決算の認定	令和2年度一般会計、及び特別会計決算の認定P4～5に審議内容を掲載
議72号	過疎地域の持続的発展の支援に関する固定資産税課税免除条例の設定	製造業等の固定資産税の免除を規定するもの
議73号	遊佐町手数料条例の一部を改正する条例の制定	個人番号カードに係る手数料を廃止するもの
議74号	令和2年度遊佐町水道事業会計剰余金の処分	令和2年度剰余金3694万円は繰越剰余金に加えられ総額3億2291万円となった P2に記載
議75号	遊佐町役場旧庁舎解体工事請負契約の締結	役場旧庁舎解体工事を1億1385万円で契約
議76号	スクールバス（中型）の取得	新小学校開校へ向けて、スクールバス2台を3443万円で取得
議77号	遊佐町過疎地域持続的発展計画の策定	過疎地域発展の支援に関する法律の規定により、計画を策定するもの
議78号	遊佐町教育委員会委員の任命	渡邊宗谷委員の退任に伴い、土門宏典氏の任命に同意するもの
議79号	遊佐町教育委員会委員の任命	任期満了に伴い、齊藤敦子委員の再任に同意するもの
議80号	遊佐町教育委員会委員の任命	任期満了に伴い、石川茂稔委員の再任に同意するもの
発議10号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出	P14に意見書を掲載
発議11号	安全・安心で、ゆきとどいた教育実現のため早急に30人学級実現を求める意見書の提出	P14に意見書を掲載
発議12号	米の需給調整に関する意見書の提出	P14に意見書を掲載

全議案 全員賛成で可決

〈傍聴者 のべ23人〉

10月臨時会【10月12日】の議案内容（一般会計補正予算）

議案番号	議案名	内容
議81号	令和3年度一般会計補正予算（第5号）	65歳以上の高齢者のいる世帯、およびひとり親世帯に商品券を配布するため4200万円を追加し、総額100億9500万円に

〈傍聴者 1人〉

採決状況 ○賛成 ×反対 議長(土門治明)は採決に加わらない

上程議案		本間	那須	佐藤	佐藤	齋藤	松永	菅原	赤塚	阿部	高橋	斎藤	土門	議決結果 (賛成:反対)
		知広	正幸	俊太郎	光保	武	裕美	和幸	英一	満吉	冠治	弥志夫	治明	
議81号	令和3年度一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	退席	○	○	○	○	○	○	—	可決 (10:0)

「遊メリ」は町民にやさしい庁舎か

新庁舎利用とICT推進
新しい未来へと向かうための情報の発信となる新庁舎「遊メリ」の完成に伴い、新庁舎の会議室で説明を受けた。



視察を終えて

菅原 和幸 委員

情報の発信はHPだけでなく、無料通信アプリ(LINE)の導入を検討すべきである。

新しいまちづくりのビジョンは

舞鶴地区若者定住住宅分譲地
舞鶴地区の若者定住住宅分譲地を視察、9区画と賃貸住宅建築予定地を確認。環境の整った場所を視察し、新しい街のビジョンに期待が。

視察を終えて
斎藤弥志夫 委員
町づくりの息吹が漂う宅地開発は未来志向に欠かせない投資であると感じた。

空き家の現状
空き家バンク登録空き家
高齢者のみ世帯と65歳以上の一人暮らしが増える中、町では空き家が増え続けている。町内の「空き家バンク」の登録空き家を視察、ランク分けを調査票で確認をする。

視察を終えて
阿部 満吉 委員
売却・賃貸などで初期費用が必要になる場合もあり、「バンク」からの取

り下げも出てきている。増える危険空き家を防ぐ対策を。

みんなで食べる楽しい

子ども食堂の実施状況
遊佐町生涯学習センターで月1回、遊佐町子ども食堂「ゆうゆう食堂」が開催されている。遊佐町社会福祉協議会で説明を受ける。20人から25人分の食事を提供。社会的セーフティネットとしての活動を今後広げるための工夫が課題となっていた。

視察を終えて
松永 裕美 委員
子ども食堂の課題解決に取り組み、事業内容が更に充実されるよう期待したい。



メニューの一品

メニューの一品

り下げも出てきている。増える危険空き家を防ぐ対策を。

ライブカメラで防災を

流域治水監視カメラ
月光川の遊佐小学校前から遊佐浄化センターまで浚渫が行われ、河積の確保が行われた。町内には3カ所に「河川ライブカメラ」があり、尻引橋のカメラを現地でスマートフォンにより確認した。大雨の際は現地に行かなくても水位確認ができることがわかる。

視察を終えて
高橋 冠治 委員
スマートフォン等で見られる監視カメラは有意義であると感じた。月光川の浚渫は洪水防止のためには欠かせない災害対策である、県へさらなる要望を。

要望を。



県河川治水 監視カメラ QRコード

視察を終えて・まとめ

委員長 那須 正幸
コロナ禍で、防災も高齢化もいかにコミュニケーションを取るかが今後課題となる。
また、介護保険料の推移は情勢を注視することが大切である。
コンビニ収納は便利であるが手数料は増えすべからず。新庁舎を含め、営みの中にもICTがこれからの生活の中心となることは間違いない。

その他
● ゆうすい(庁舎座学)
介護職員の人材育成
● 健康福祉課(庁舎座学)
介護保険料の今後の見通し
● 出納室(庁舎座学)
コンビニ収納、手数料

コンビニ収納、手数料

実施日 8月6日

遊佐での生活はいかが

遊佐高校自然体験型 留学生用住宅

「遊佐高校自然体験型留学生制度」が始まり3年目を迎える。八日町地内にある男子生徒が生活している住宅で、地域おこし協力隊員でもある鈴木相談員より説明を受けた。

親元を離れ、寮生活のような環境の中、生徒たちは自主的に協力しながら、たくましく生活しているとの話であった。相談員の「すごく成長している」の言葉がとても印象的だった。

視察を終えて

赤塚 英一 委員

民間の住宅を利用して、今後の後も継続するのであれば、しっかりとした住居(寮)の整備が必要と感じた。

産業廃棄物 処理施設の今後

地域とともに

高速道路整備のため、

現在の十里塚地内から金俣地内へ移転することになった「株式会社 幸輪」の金子会長より施設の今後について説明を受けた。

移転に伴い現在行っている焼却事業は、経費の面から「断念せざるを得ない」との話であった。環境への配慮など地域集落との調整をこれからどう取り組んでいくかなど、意見を交換した。

視察を終えて

齋藤 武 委員

産廃処理業は「静脈産業」とも呼ばれ、必要不可欠。今後、特に近隣集落との風通しのよい関係を望む。



「株式会社 幸輪」事務所にて



藤井の「村堰」取り入れ口

藤井地区用水 取り入れ口に赴く

中山間地直接支払事業

「中山間地直接支払事業」の一環で用水路の維持管理を行っている。この用水路は藤井地区に水を引くために先人が造ったものだ。取り入れ口までの道のりは、決して楽ではない。地域の高齢化、そして農家の減少が進み、今後この事業を担っていくことができるのか、という課題がある。

視察を終えて

土門 治明 委員

適切な水路管理が地域の方々の努力のおかげであることが理解できた。

佐藤俊太郎 委員
現地に赴き先人の苦勞

を知った。後世に残すにはどうすればよいか考えなければならぬ。

吹浦の排水対策は万全か

水門と排水ポンプ

吹浦の元町は冠水が起きやすい所だ。旧吹浦漁港付近に排水のための水門があるが、水位の関係でうまく排水できなくなることがある。その際、排水ポンプを稼働させる。実際にどこにポンプを設置し、どのように排水作業を行うのかなどの説明を受けた。

視察を終えて

佐藤 光保 委員

いつか起こるであろう有事の際に、ポンプがうまく機能することを望む。



排水ポンプ設置場所

地域活性化拠点施設進展は

ブランド推進協議会も入居

加工施設として1階北側部分260㎡を活用し、2階南側は3年度から「遊佐ブランド推進協議会」が入り、施設の管理運営を始めた。

新たに「2階の元レストラン部分を、貸し事務所をイメージし改装する計画がある」との説明を受けた。

視察を終えて

本間 知広 委員

毎年確実に活用スペースは増えているといえる。

その他

- 豚熱予防 杉沢南地内
- やすらぎ公園 下野沢地内
- 洗沢川浚渫 直世地内
- 丸池様駐車場 直世地内
- 茂り松残存林 茂り松地内

中高生の居場所を増やすには

第19期少年議会との意見交換会

3回目となる少年議会と遊佐町議会との意見交換会。
「中高生の居場所を増やすにはどうすればいいのか…？」
というテーマで、アツく語り合いました。(10月1日開催)



統合により廃校となる小学校を
活用した居場所を考えては



遊ぼつとのアスレチック施設を
もっと活用できないか



数年後を見据えて町へ要望すべき



中高生対象にしてニーズ調査を
まず行うべきでは



シリーズ 遊佐人 ⁷ Yuzajin

伝統を引き継ぎ未来へ

吹浦小学校

5年に町内5小学校は統合し、新生遊佐小学校としてスタートします。地区の核となってきた小学校。それぞれ個性があり伝え残したいことを取材していきます。第1回目は、吹浦小学校にお話しを伺いました。



吹浦小は どんな学校ですか

山形県のおでこの上に位置し、東に鳥海山、西に日本海と十六羅漢、南に庄内平野と月光川、北に三崎山を望む景勝の地に囲まれた学校で、明治7年に「吹浦学校」として創設。地域の教育に対する情熱と、伝統や文化豊かな自然を引き継ぎながら地域と共に歩み147年の歴史があります。



吹浦小と日本海

です。児童数73名、教職員18名で、学校目標「鳥海の高きをめざし、よく学び、かかわり合い、吹浦を愛する子ども」に向かって進んでいます。

国指定史跡の「小山崎遺跡」、鳥海太鼓や花笠舞など、恵まれた自然環境や伝統文化を教育活動に取り入れ、ふるさと学習を充実させています。

「豊かな体験活動をとおりてふるさとを愛する人になってもらいたい。」そんな願いの中で、伸び伸びと学び、健やかに成長することができています。

特徴的な学習を教えてください

「鳥海山・飛鳥ジオパーク」やユネスコ無形文化遺産となった「アマハゲ」、



吹浦地区伝統の花笠舞

本校は、ICT活用推進校として注目されており、公開研究会や新聞などで県内の学校に広く発信されています。

ICTを活用した学習にも取り組んでいると聞きましたが

県教育委員会の指定を受け、ICTの有効活用を目的とした授業のあり方を研究し、3年度より、一人一台のパソコンが提供されました。調べ学習や、話し合い、発表に用いたり、写真や動画を撮ったり学習用具として活用しています。子どもたちの学力の向上につながっていることも実感しているところです。

どんな子どもたちですか



パソコンの資料を見ながら話し合い

互いを尊重し高め合える本場に素晴らしい子どもたちです。それを象徴する一つが、9月に行われた運動会の応援パフォーマンス練習です。2週間にはわたって行われる練習は、子どもたちの主体性や協力する気持ちを育てる格好の場で、高学年が中心になり練習が進められました。



応援パフォーマンス練習

最後に一言お願いします



力いっぱいダンスを運動会で披露

収束が見えないコロナ禍です。こんな時だからこそ、夢や希望を子どもたちに多く語り未来に送り出してあげたい。それができる学校にこれからもしていきたいです。

鳴り物やダンスパフォーマンスに取り組みました。丁寧の下級生に教える上級生の姿、上級生の動きをキラキラした目で見つめ必死に覚えようとする下級生の姿には、見ていて感動を覚えました。このような吹浦小のよき伝統が、子どもたちによって築き上げられ、今日まで引き継がれてきました。

遊佐町議会だより

夏の日、吹浦防災センターでは、親子で「防災」を学んだ。電話を使いい119番通報訓練や水消火器での当てなど、スタンプラリー形式



わくわく防災体験

表紙の写真

でクリアするたびスタンプがもらえる。避難に必要な水やタオルそしてLEDライトを詰め込んだリュックを背負って重さを確認していた。幸いにして我が町では災害が少ない。でも備えは必要である。「安心」のために。

議会を傍聴してみませんか
12月定例会のご案内

遊佐町議会は、年間4回の定例会が開催されています。
12月定例会は、本会議と補正予算審査特別委員会が議場で行われます。
一度傍聴してみませんか？

12月定例会の予定

- 12月7日(火) 本会議・一般質問
- 12月8日(水) 一般質問
- 12月9日(木) 常任委員会
- 12月10日(金) 補正予算審査特別委員会
本会議

※変更する場合もございますので、傍聴の際はあらかじめ議会事務局(☎72-5889)にご確認ください。

議会クイズ



110

令和3年8月1日153名の議会クイズには35名の方が応募があり、34名の方が正解でした。抽選の結果、次の10名の方が当選し、米々ちゃんスタンプカードお買い物券1000円分をお届けします。

答え ①B ②A ③A

- 高橋 ちや子(遊佐)
- 石倉 正樹(稲川)
- 佐藤 正高(瀬)
- 波谷 仁史(遊佐)
- 佐藤 孝治(吹浦)
- 渋谷 和子(遊佐)
- 阿部 幸遊(佐)
- 島中 憲子(吹浦)
- 藤山 えい子(西遊佐)
- 富樫 睦子(高瀬)

問題

①2年度のインフルエンザワクチンの子どもの接種率は。

- A 55・1%
- B 66・1%
- C 77・1%

②吹浦小学校の歩みの歴史は何年か。

- A 147年
- B 157年
- C 167年

③2年度のプレミアム付商品券の還元率は。

- A 20%
- B 40%
- C 50%

応募方法

ハガキに答えの記号(例①A ②B ③C)それに住所、氏名、年齢、集落名を書いてください。

(正解者の中から10名様に、米々ちゃんスタンプカードお買い物券1000円分をお届けします。ご応募いただいた方の個人情報、この議会クイズ以外の目的には使用しません。)

ハガキの余白に答えのほか議会へのご要望、ご意見をいただければ大歓迎です。

宛先/999-8301
遊佐町遊佐字舞鶴202
役場内 議会事務局
締め切り11月25日
発表は次号です。

編集室より

庁舎が新しくなり、議場も装い新たになりました。最新式の機器にとまどいながらも、新庁舎での初議会となりました。

われらも心機一転、今までできていなかったことに取り組みます。紙面の欄外に、議会クイズなど寄せられたご意見と広報常任委員会コメントを「チョコレター」色の文字で「チョコレター」として掲載していきます。今後ともご指導ください。(阿部 満吉)

発行者

議長 土門 治明
議会広報常任委員会

- 委員長 阿部 満吉
- 副委員長 佐藤俊太郎
- 委員 齋藤弥志夫
- 委員 齋藤 武
- 委員 那須 正幸
- 委員 本間 知広